

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 2月

令和4年2月1日の推計人口 1,292,592人
世帯数 555,804世帯

参考：R2.10.1現在国勢調査総人口：1,312,317人、
世帯数：558,230世帯

1 推計人口

令和4年2月1日現在の推計人口は、1,292,592人で、前月(1,293,954)に比べ1,362人の減少となった。

市部では、大村市(95)の1市で増加し、長崎市(△426)、佐世保市(△322)、諫早市(△99)、島原市(△78)、平戸市(△72)、壱岐市(△57)、五島市(△55)、対馬市(△54)、南島原市(△49)、松浦市(△42)、雲仙市(△37)、西海市(△30)の12市で減少した。

郡部では、新上五島町(△35)、長与町(△29)、東彼杵町(△25)、時津町(△13)、川棚町(△11)、波佐見町(△10)、小値賀町(△9)、佐々町(△4)の8町で減少した。

自然動態は、出生数746人、死亡数1,903人で1,157人の減少、社会動態は、転入者数2,338人(県内転入を含む)、転出者2,543人(県内転出を含む)で、205人の減少となった。

2 世帯数

令和4年2月1日現在の世帯数は、555,804世帯で前月(556,315)に比べ511世帯の減少となった。

(注)

・異動人口推計=R2国勢調査確定数+住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】 …… 12月

1人当たり現金給与総額 506,897円
対前月比 94.3%増加
対前年同月比 9.9%減少

1 賃金

12月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額は506,897円で、前月に比べ94.3%増加し、前年同月に比べ9.9%減少した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は251,695円で、前月に比べ2.8%増加し、前年同月に比べ4.2%減少した。

特別給与額は255,202円で、前年同月に比べ、44,259円減少した。

2 労働時間

12月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は152.8時間で、前月に比べ2.7%増加し、前年同月に比べ0.3%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は138.4時間で前月に比べ0.8%増加し、前年同月と比べ、2.2%減少した。

所定外労働時間数は14.4時間で、前月に比べ24.2%増加し、前年同月に比べ22.0%増加した。

3 雇用

12月の常用労働者数は219,716人で、前月に比べ、0.2%増加し、前年同月に比べ4.4%増加した。

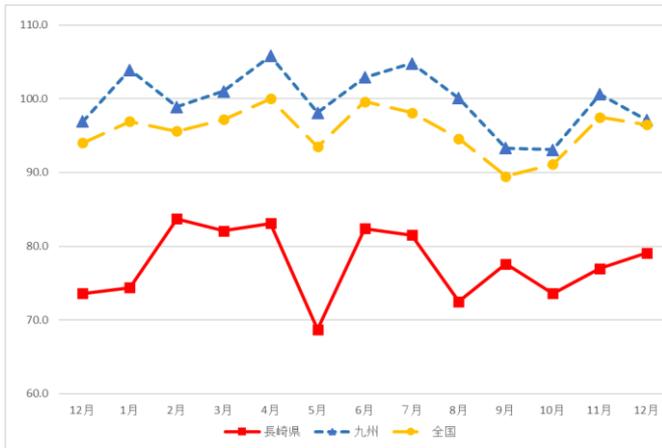
【鉱工業生産指数】……………12月

令和3年12月の鉱工業生産指数

(平成27年=100)

区分	季節調整指数		原指数	前年同月比(%)
	調整指数	前月比(%)		
長崎県	79.1	2.7	84.3	12.0
九州	97.1	△3.5	105.2	0.2
全国	96.5	△1.0	100.4	2.7

鉱工業生産指数の推移【季節調整指数】



2021年12月の鉱工業生産指数は、季節調整指数が79.1で対前月比は2.7%の増、原指数は84.3で対前年同月比は12.0%の増となった。

業種別にみると、はん用・生産用機械工業、電気機械工業、食料品工業など6業種が上昇し、繊維工業、輸送機械工業など7業種が低下した。

○主な上昇業種

業種	前月比(%)	上昇に寄与した主な品目
はん用・生産用機械工業	28.4	蒸気タービンの部品・付属品
電気機械工業	16.7	交流発電機
食料品工業	7.0	その他の調味料

○主な低下業種

業種	前月比(%)	低下に寄与した主な品目
繊維工業	△4.6	織物製外衣
輸送機械工業	△0.6	修繕船

(注)前月比は季節調整指数の対前月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】……………1月

総合指数(R2=100) 100.2
 対前月比(%) +0.0
 対前年同月比(%) +0.3

長崎市の消費者物価総合指数は、2020年(令和2年)を100として、100.2である。

前月と同水準であり、主な上昇要因は「食料」の+0.5%、「住居」の+0.3%であり、主な下落要因は「被覆及び履物」の△3.4%、「交通・通信」の△0.4%である。

前年同月比は、令和3年9月は+0.1%、10月は+0.1%、11月は+0.2%、12月は+0.6%と推移した後、1月は+0.3%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は100.0で前月と同水準であり、前年同月比は+0.1%であった。

(前月との比較)

△上昇した費目

光熱・水道	0.8%
食料	0.5%
住居	0.3%
保健医療	0.1%

▽同水準の費目

教育	±0.0%
----	-------

▽下落した費目

被服及び履物	△3.4%
家具・家事用品	△0.7%
諸雑費	△0.5%
交通・通信	△0.4%
教養娯楽	△0.4%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】……………1月

消費支出(一世帯当たり) 264,429円
 前月比 46,504円減(15.0%減)

令和4年1月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は264,429円で、前月比15.0%の減、前年同月比は0.4%の増であった。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は78.6%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。